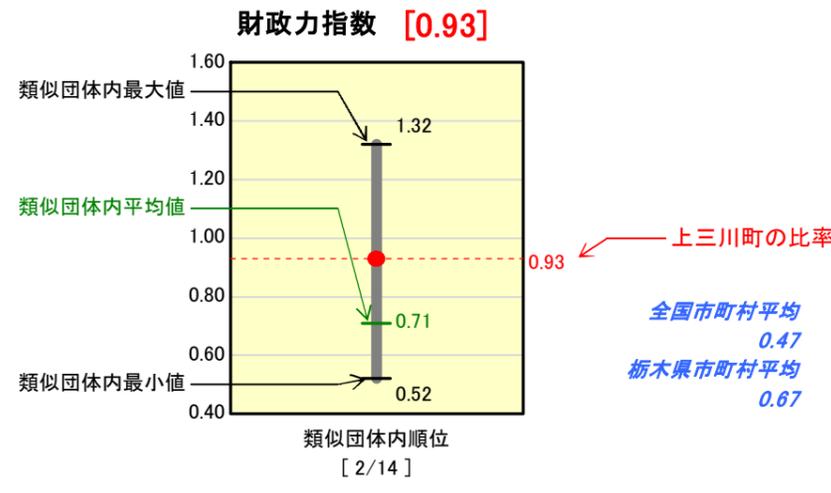


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

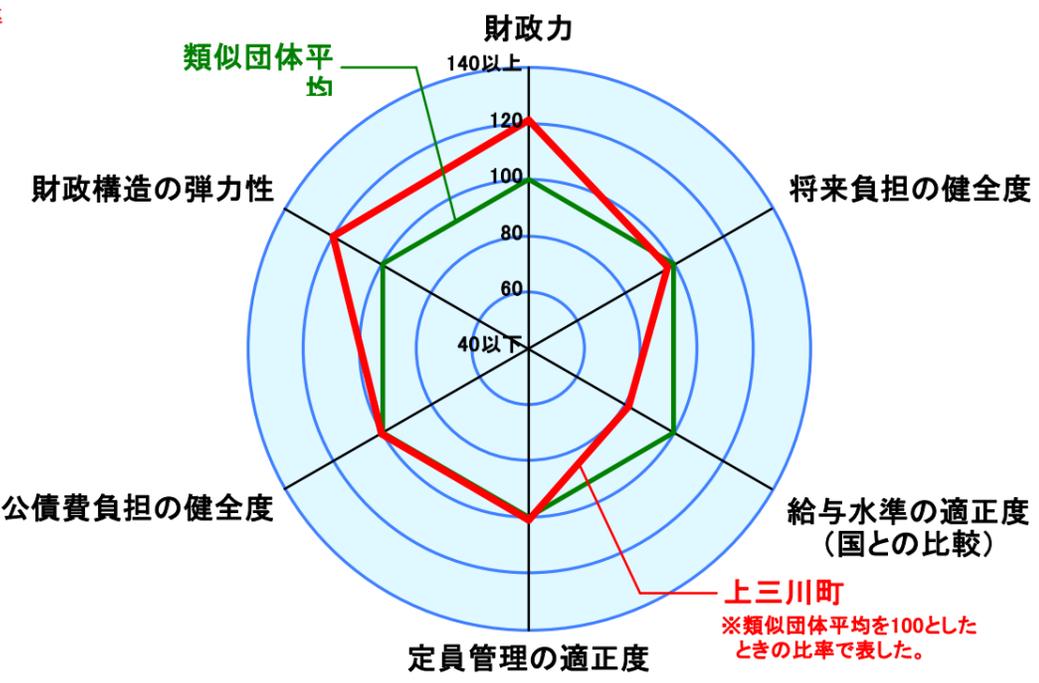
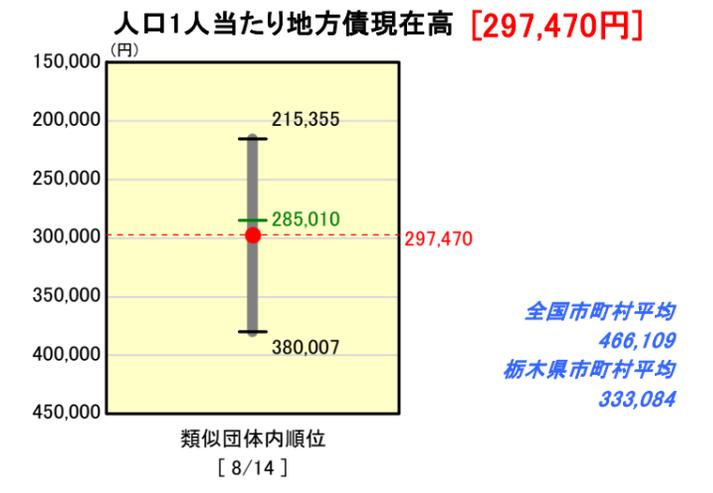
## 栃木県 上三川町

人口	31,239人(H17.3.31現在)
面積	54.52 km <sup>2</sup>
歳入総額	11,200,874千円
歳出総額	10,597,625千円
実質収支	534,779千円

### 財政力

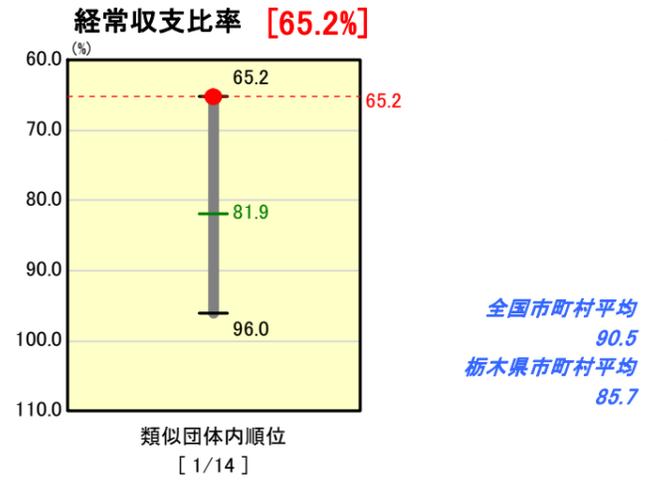


### 将来負担の健全度

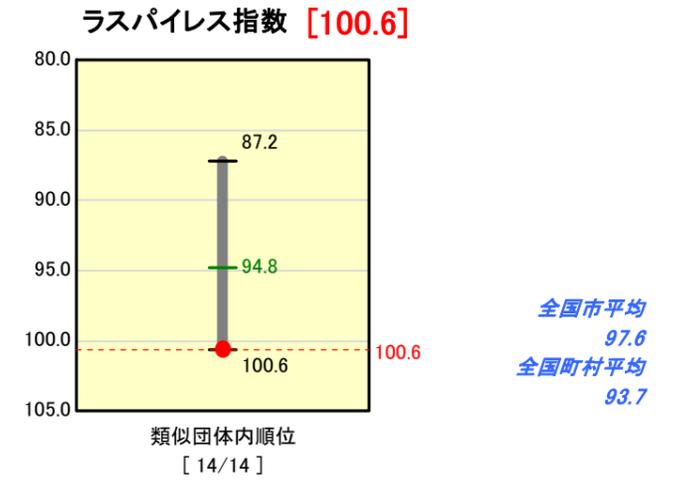


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

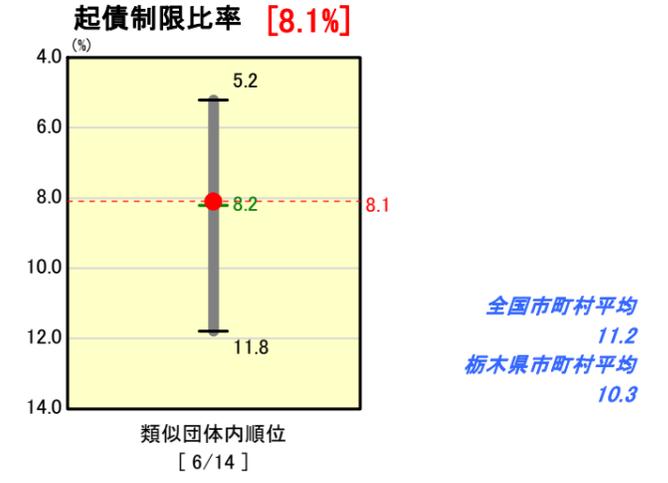
### 財政構造の弾力性



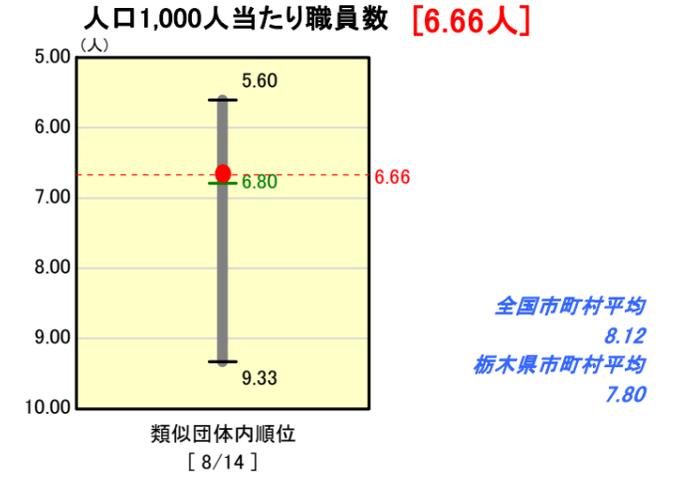
### 給与水準の適正度(国との比較)



### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度



**分析欄**

【財政力指数】本町では大企業の事業所が立地することなどで、類似団体平均より高い数値を示している。ただし、指数は経済動向次第で大きく変動する場合があります。また、その予測も困難であることから、税源移譲が予定されている町税の収納率を高め、安定した財源確保に努める。

【経常収支比率】本町の経常一般財源決算額は年度により大きな変動があり、平成16年度は企業業績の回復により税収入が一時的に増えたため指数は低くなっているが、平成17年度以降は70%台半ばに上昇するものと予想される。これまでも新規職員採用の抑制、職員手当等の見直し等、人件費を中心に平成12～16年度の五ヶ年間で平成11年度に対し1億7,600万円、8.2%の削減を行ってきたところですが、今後は行政評価制度を導入し、事務事業の効率化を図り、更なる経常経費の削減に努める。

【ラスパイレス指数】職員の給与については、特殊勤務手当の大幅廃止や旅費の見直し及び特別昇給の半減等を行ってきた。しかしながら現在も他の団体と比べ高い水準にあることから、級別職務分類表の改正による5級以上への昇格抑制や全体的に昇級の抑制等を行うことにより、引き続き縮減に努める。